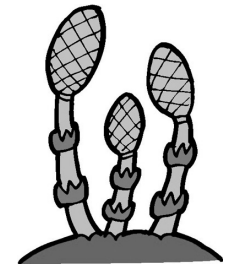




まちづくり基本条例策定委員会のあゆみ(最終号)



これまで「まちづくり基本条例策定委員会」が検討を重ねてきました条例素案の内容がまとまりました。市民の皆さんからいただいた意見や検討内容を最終的にとりまとめた条例(案)は、現在うきは市のホームページで公開しています。最終号となる今回のニュースレターでは、委員会の立ち上げからこれまでの経過をもう一度市民のみなさんとともに振り返ってみたいと思います。

▼平成18年10月1日

素案の公表・ホームページの開設



12月までの3ヶ月間をパブリックコメント実施期間として、市民の皆さんの意見を受け付けてきました。また、委員会ホームページを立ち上げ、情報提供に努めてきました。

▼平成18年4月

「ニュースレター」をスタート

条例に対する市民の関心を高めるため、委員会の活動状況や条例に関する情報を、ほぼ毎月1回広報うきはで紹介してきました。

9月末まで素案づくりに奔走

委員会を3班に分けて、分担して作業を進めました。班会議、全体会議を繰り返しながら、素案の完成となりました。

▼平成18年3月

「うきは市」を見つめ直してみました

まちづくり基本条例の基礎知識を学ぶことから始めましたが、自分たちの条例をどこから作りだしていけばよいのかわかりません。

そこで、外部から講師を招き、「うきはらしさ」をテーマにワークショップを実施しました。委員の考えや思いを出し合い、目指す方向を共有することができました。



▼平成17年11月

「まちづくり基本条例策定委員会」を設置

平成17年9月に委員の一般公募を行い、市民公募委員による委員会(委員15名)を同年11月21日に立ち上げました。委員の活動はボランティア(無報酬)で、市からのたたき台がない、まったく白紙の状態から条例の素案づくりが始まりました。

会長に松門寺貴規さん、副会長に末次研治さんが選任されました。

ワークショップ:体験型の講座。近年、企業研修や住民参加型まちづくりにおける合意形成の手法としてよく用いられています。

ゴール!でもここからがスタート

▼平成18年10月16日

まちづくりフォーラム開催

北海道二セコ町で条例づくりに関わった九州大学大学院の木佐茂男教授の基調講演と、委員会の寸劇を交えた素案の紹介を行いました。



委員の熱演は、大変わかりやすく楽しかったと市民の皆さんから好評をいただきました。

▼平成18年11月~12月

まちづくりワークショップ開催



条例の策定に一人でも多くの市民の皆さんに参加してもらうため、一般市民を対象にした5回のワークショップを開催しました。

▼平成19年1月

中学生とのワークショップ

うきは市の次代を担う青少年にも関心をもってもらおうと、吉井中学校の生徒会役員を対象にワークショップを実施しました。

市議会との意見交換会

市議会議員のみなさんに素案づくりの経過を説明。貴重な意見をいただきました。

▼平成19年1月

素案修正

これまで市民のみなさんからいただいた一つひとつの意見を大切にしながら、修正作業を進めていきました。

内容は、うきは市のホームページで確認できます。

▼平成19年2月 市長へ提出



2月5日、まちづくり基本条例策定委員会から市長へ「うきは市協働のまちづくり基本条例(案)」を提出しました。審議会を経て、3月議会に上程される予定になっています。

● 素案づくりを終えての思い ●

高松幸茂さん(浮羽町鹿狩)

より良いまちづくりのためにと話し合いを繰り返して素案をつくり、皆さんの多くの提案を参考に改善した上で市長に提出しました。「当り前の事ばかり」とか「足りないことが多い」とかご意見があるでしょうが、皆さんと使いこなして育っていく条例です。この条例を利用して、より良いうきは市のために活動しましょう。



今村真紀さん(吉井町18区)

うきは市の自治基本条例を作るということで興味を持ち参加させていただいたのですが、最後まで他の委員さんにおんぶにだっこ状態でした。でも自分がこの条例づくりに参画したことで自分の住むまちの事をもっと深く知ることができ、今後自分も市民の一人として積極的に関わっていこうと思えるようになりました。



森永喜久子さん(吉井町19区)

「自治」それは、市民自らが「夢の実現」のため夢を描くことから始まり、地域を知ること、そのための環境づくりを考えることだと思います。1年間、基本条例策定に携わりそんなことから学びました。市役所の方々と一緒に取り組み続けたこと、それこそが本物の自治の始まりだと思います。



古賀公彦さん(浮羽町千足五丁目)

まったくの白紙からスタートした条例づくりも、ようやく市に提出というところまでこぎつけました。フォーラムやワークショップに参加された方ははじめとする市民の皆さん、様々なご意見ありがとうございました。この条例を生きた条例にしていくなためにも、これからも市民の力を合わせて、うきは市の協働のまちづくりを実現していきましょう。

